

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

2022年1月5日 更新				SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																														
カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
		環境	社会	経済																														
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し経営トップが積極的に関与している							5.1 5.2 5.5										16.1 16.2 16.7										
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記 ハラスメント研修の実施 ハラスメント相談窓口の設置							5.1 5.2 5.5										16.1										
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	労働基準法の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている																	8.5 8.8										
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処理や労働環境の整備を行っている																	8.7 8.8	10.2 10.3									
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	社員向けの労働安全衛生講習会の実施、社内ホームページ等を活用した周知徹底 安全衛生優良企業公表制度認定（厚生労働省）の取得																		8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	メンタルヘルスに関する方針と計画の策定 メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修の実施 メンタルヘルスに対応した休職規定等の整備																		3									
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	女性が働きやすい職場環境作り（女性専用トイレの設置等） 治療と仕事の両立が可能な勤務時間体制の構築 継続雇用年齢を65歳→70歳に引き上げ																		5.1 5.5	8.5	10.2 10.3							
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用																				3	8							
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用																					4	8	9					
	10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用																					8.5	10.2 10.3						
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	廃棄物の種類、量など現状を把握して、削減のための計画を策定している																				11.6	12.3 12.4 12.5	14.1					
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画の策定と推進																						7.3	13				
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している																							7.2 7.3	12.4	13.3		
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している																								3.9	6.3	11.6	12.4	
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している 事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、大きな負の影響を削減するための計画を策定している																									6.6		

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

		2022年1月5日 更新			SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																																
カテゴリー	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
		環境	社会	経済																																	
16 環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用						6.4 6.6																										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用			3.9			6	7					12	13.3	14	15																	
	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用												12.6																				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用							7.2							13																		
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用												12.2	13	14	15																	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15																	
22 公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範の整備と社内浸透															16 16.5																
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修の実施																16															
	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	特許、商標等知的財産の取得・管理 製品開発における特許侵害調査 (業務において対象外)								8.2 8.3	9																						
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	パソコン・保管書類の年2回の自主監査 パソコンハードディスクの暗号化																16															
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																	16															
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用					5				8		10		12	13	14	15	16	17														
28 製品・ サー ビス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策 製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書の作成			3.9									12.4																			
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	顧客からのクレーム対応など、品質を保证する仕組みを構築 顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールの策定 役職員向け研修の実施 ISO9001の取得								9																							
30 製品・ サー ビス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用						6						12	13	14	15																	
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用																	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1																							
2																							
3																							
4																							

【記載留意事項】

- ・SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度 など）